

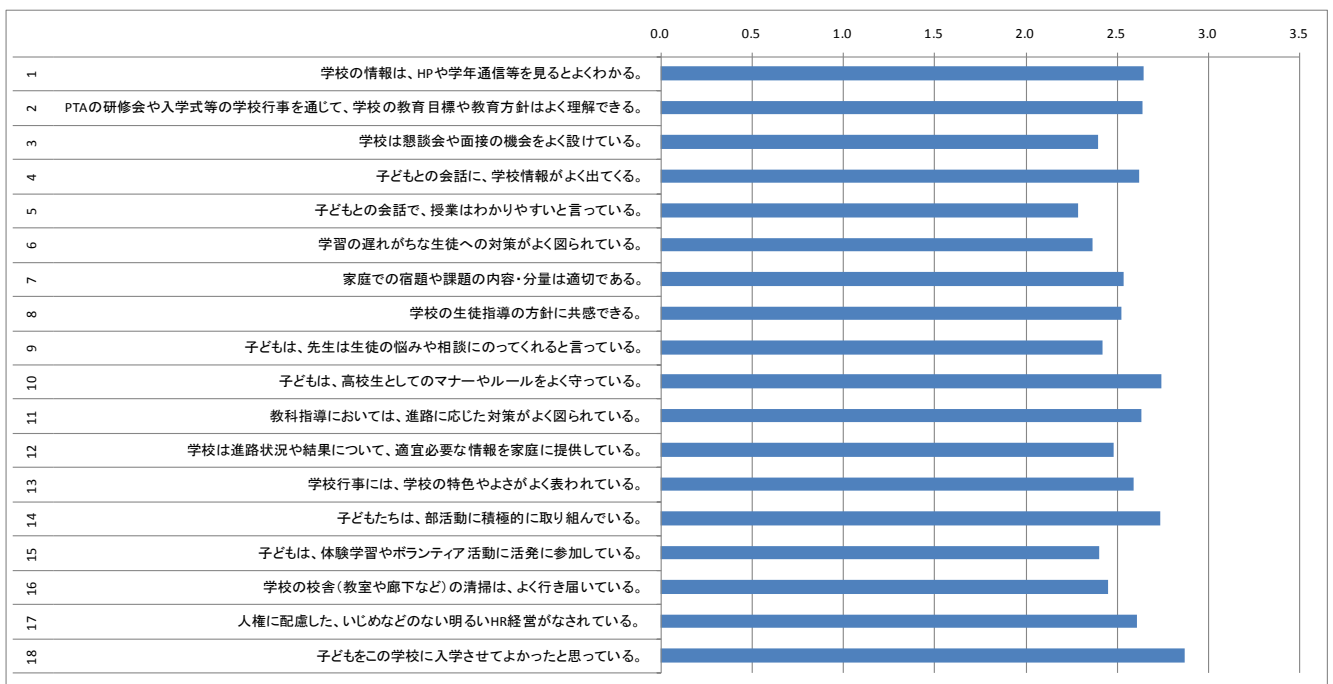
「平成22年度学校評価結果について」

学校評価委員会

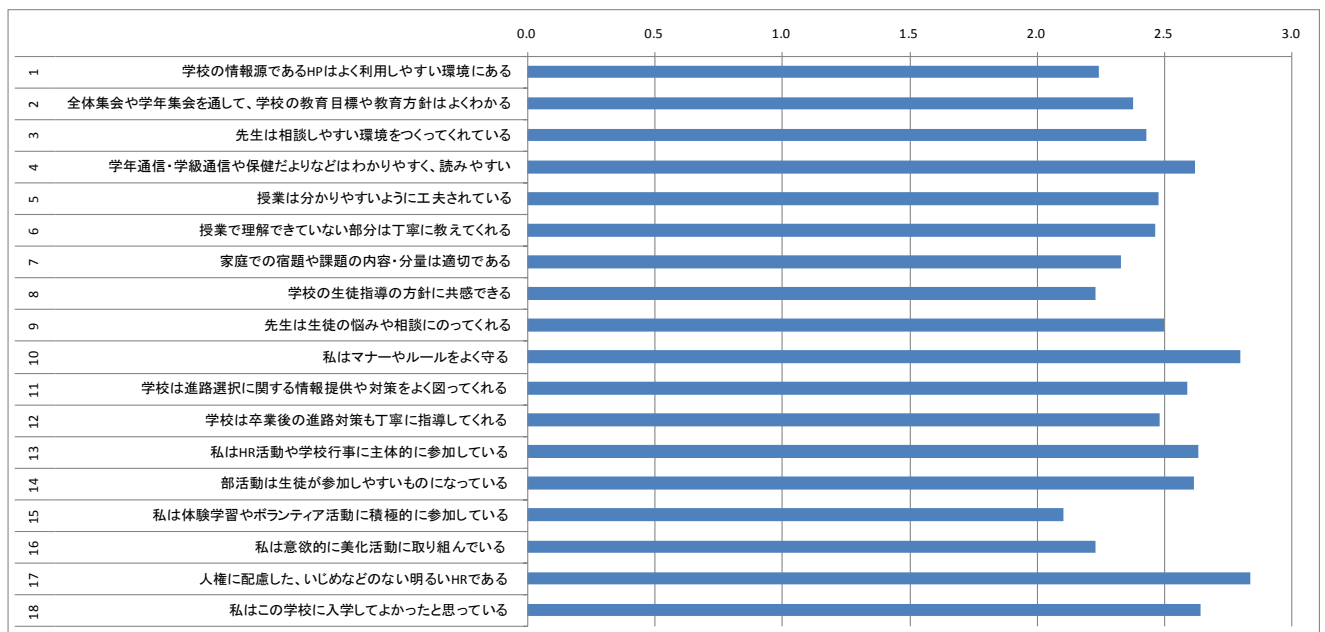
今年度は、昨年度の学校関係者評価委員の方からの提言をいかして、重点目標を実現するために、昨年度の33評価項目を絞って、15項目にしました。そして、1月に「職員による学校評価」、「生徒による学校評価」、「保護者による学校評価」を実施し、その結果を2月28日の学校関係者評価委員会で説明をして意見をいただきました。

- 1 「学校評価結果」は、全職員による15項目に関する4段階評価結果です。
- 2 「保護者による学校評価結果」は、保護者279人による18項目に関する4段階評価結果です。
- 3 「生徒による学校評価結果」は、全校生徒による18項目に関する4段階評価結果です。

【平成22年度保護者学校評価アンケート結果】



【平成22年度生徒学校評価アンケート結果】



平成22年度 学校評価結果

兵庫県立東灘高等学校

「落ち着いた学校」、「あたりまえのことが、あたりまえに行える学校」を目指す。 (1)基礎・基本を重視し、自ら学ぶ意欲の育成と個性を生かす教育を充実する。 (2)生命の大切さや思いやりの心を育て、共に生きる社会をめざす福祉の心を育成する。 (3)健全な精神と身体の養成を図り、社会の変化に柔軟に対応してたくましく生きる人間を育成する。		重点目標	【中・長期の重点目標】 ・「魅力ある学校、活力ある学校」をモットーに、明るく、元気な校風の樹立に努める。 ・学校・家庭・地域・同窓会・関係機関との連携・協力を図り、地域に信頼される学校づくりに努める。 ・人間的なふれあいに基づく指導を通じた、規律ある生活態度を育成する。 ・教職員としての豊かな人間性の滋養に努め、専門性と実践的指導力の向上をめざした研修の充実を図る。 ・震災から学んだ教訓を確実に語り継ぎ、それらを踏まえた防災教育の充実にも努める。	
			【今年度の重点目標】 (1) 安心、安全の確保 (2) 入り口と出口の保障 (3) 認めて褒める (4) 分かる授業 (5) 連携の重視	
【共通項目】 4…よくできた 3…できた 2…あまりできなかった 1…できなかった				
評価の観点	番号	評価項目	実践目標	自己評価
開かれた学校づくり	1	家庭や地域への情報発信	「学校便り」、「学年通信」、「学校ホームページの更新の充実」により、様々な教育活動や行事等を保護者や地域の方に正確に伝える。	3
	2	学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	学校評議員会を年間3回開催し、学校運営に関しての説明及び授業を公開することにより、保護者、地域の方の意見を積極的に取り入れる。	2.3
生徒指導	3	規範意識の向上	生徒指導部が中心となって、遅刻指導、頭髪指導、服装指導、マナー指導を全職員で共通理解を図り、協力して実施する。	3.2
	4	生徒の内面の理解をする	個人面談、綿密な家庭との連絡を行い、生徒の心のありようを理解する。	3.1
進路指導	5	進路指導体制の充実	生徒のニーズに合った進路情報を提供し、3年間を見据えた進路指導を、組織的・継続的に行うことにより、生徒個々の希望する進路を実現させる。	2.5
教員の資質の向上	6	社会の変化に対応した教育観の育成	学校の緊急の課題に関する校内研修を計画的に行う。また、職員個々に必要な資質に関する校外研修に積極的に参加を図る。	2.3
学校の個性化・多様化	7	特色類型の充実に向けての取り組み	特色類型の2, 3年生における特色ある教育課程の編成と具体的な中身について検討を行う。	2.2
	8		高大連携校の拡大及び2, 3年生における特色ある行事の内容の検討を行う。	2.1
危機管理体制の整備	9	生徒・職員の健康管理	生徒・職員の健康状態を把握し、疾病、怪我の予防や健康維持・増進のために適切な措置を講じる。	2.8
	10	安全教育の一層の充実	防災マニュアル・危機管理マニュアルに基づき、計画的に危機的事態への訓練を行う。	2.5
学校運営全般	11	業務の効率化を図る	校内LANの整備を行い、業務の情報の共有を図る。また、IT機器の導入に伴い、職員への利用方法についての研修会を行う。	3.4
	12	校務分掌における取り組み	年度当初に、分掌毎に重点目標を設定し、PDCAサイクルの定着を図る。	2.8
人権教育	13	人権教育推進の充実	3年間を見通した人権ホームルームを計画し、各学年で実施することにより、人権教育の推進を図る。	1.9
基礎・基本の定着	14	分かる授業の工夫	生徒が分かりやすく、達成感が味わえる授業の実践を行う。	2.8
	15	指導方法の工夫	授業公開を行い教科会の中で、指導方法の工夫・改善、指導内容の精選を図り、効果的な学習システムについて研究する。	2.3

平成22年度学校関係者評価

平成23年2月28日に学校関係者評価委員会を行い、「平成22年度学校評価結果」に対する提言をいただきました。

【全体に関して】

- 1 重点目標についても「評価」があればよいのではないか。
- 2 先生方の評価と生徒・保護者の評価の差を検証していくべきである。生徒から親へ伝わっていない部分があるはずである。
- 3 「重点目標」のみ評価を聞いて、各評価項目については、自分たちで検証していくのも1つの方法である。
- 4 評価結果が、下がった項目について原因を考えていく必要がある。
- 5 出口の学力をしっかりとつける指導をして欲しい。
- 6 生徒は、授業、勉強に関しては気になっています。しかし、友人関係、人間関係については、大切にしていると思います。
- 7 授業に関する評価項目をもう少し増やしていけば、生徒の様子がよくわかるのではないか。

【項目に関して】

- 1 《13の項目》人権教育の充実の自己評価の数値が厳しい値になっているが、生徒・保護者の評価では良い結果が出ているので、感じ方が異なっているのではないか。
- 2 《3, 4の項目》学校が良くなっている。生徒に対する交流の部分でいい数値がでている。